

2026 年 10 月 15 日
株式会社ベイカレント
トレジャーデータ株式会社

ベイカレントと Treasure AI、
現場の業務変革（CDX）推進に向け協業
ベイカレントの新サービス「BAYVO.」に次世代音声 AI
「Treasure AI Voice」を実装し、対面会話をデータ資産化

～消えゆく技能の継承から、あらゆる業務変革の基盤構築まで。
現場の生の会話を、企業のデータ資産に～

2026 年 10 月 15 日、株式会社ベイカレント（本社:東京都港区、代表取締役会長兼社長: 阿部 義之、以下「ベイカレント」）とトレジャーデータ株式会社（本社:東京都港区、社長執行役員:三浦 喬、以下「Treasure AI」）は、現場の対面コミュニケーションをデータ化し事業変革を導く「Conversation Driven Transformation（CDX）」の推進に向けた協業を発表します。

本協業に伴い、ベイカレントは独自の変革支援サービス「BAYVO.」の提供を開始します。Treasure AI は同サービスを支える中核技術として、次世代音声 AI「Treasure AI Voice」を提供し、両社共同で企業の業務設計から現場定着までを強力に支援します。



「BAYVO.」とは

トップセールスのトーク術を組織の誰もが再現できる型にする。顧客が何気なく漏らした一言から、次の商品開発の種を見つける。熟練者の判断の理由を、次の世代へ引き継ぐ。

「BAYVO.」は、対面の会話をデータ資産に変えることで、これらを実現するベイカレントの「Conversation Driven Transformation（CDX）」サービスです。

背景と社会課題

AI の活用が本格化する中、Web 上の公開データやテキスト化された要約データだけでは業務の差別化が困難となり、「良質な一次情報」の不足が多くの企業で顕在化しています。

1. 失われる一次情報

日報や CRM への要約入力では顧客の「生の声」が削ぎ落とされ、対面コミュニケーションの実態が経営判断に届いていません。

2. 熟練技能の断裂

労働人口減少に伴い、熟練者のノウハウや「なぜそう判断したのか」という暗黙知が言語化されないまま失われています。

3. 音声データの活用だけでは、表層的な業務効率化にとどまる

単なる音声のテキスト化だけでは表層的な効率化にとどまります。技術導入と現場の業務プロセス再設計が分断されており、本質的な成果に結びついていないのが現状です。

ベイカレントと Treasure AI の協業イメージ

ベイカレントが企業の変革と成長の道筋を描き、現場業務のフロー設計から、現場教育、定着までを支援。同時に、Treasure AI は「Treasure AI Voice」を提供し、音声データを取得・構造化。蓄積された会話データを企業が持つ他のデータ資産と統合し、AI 解析により事業成長を左右するキードライバーを特定します。入力作業の削減や営業活動の高度化にとどまらず、声から見出した打ち手を起点に業務のあり方を再設計し、企業の事業成長へと導きます。

提供内容と両社の役割

両社の役割

- ・ ベイカレント

業務変革の構想策定、実行計画の立案、チェンジマネジメント、および現場に定着するまで、常駐型を主とした伴走支援。

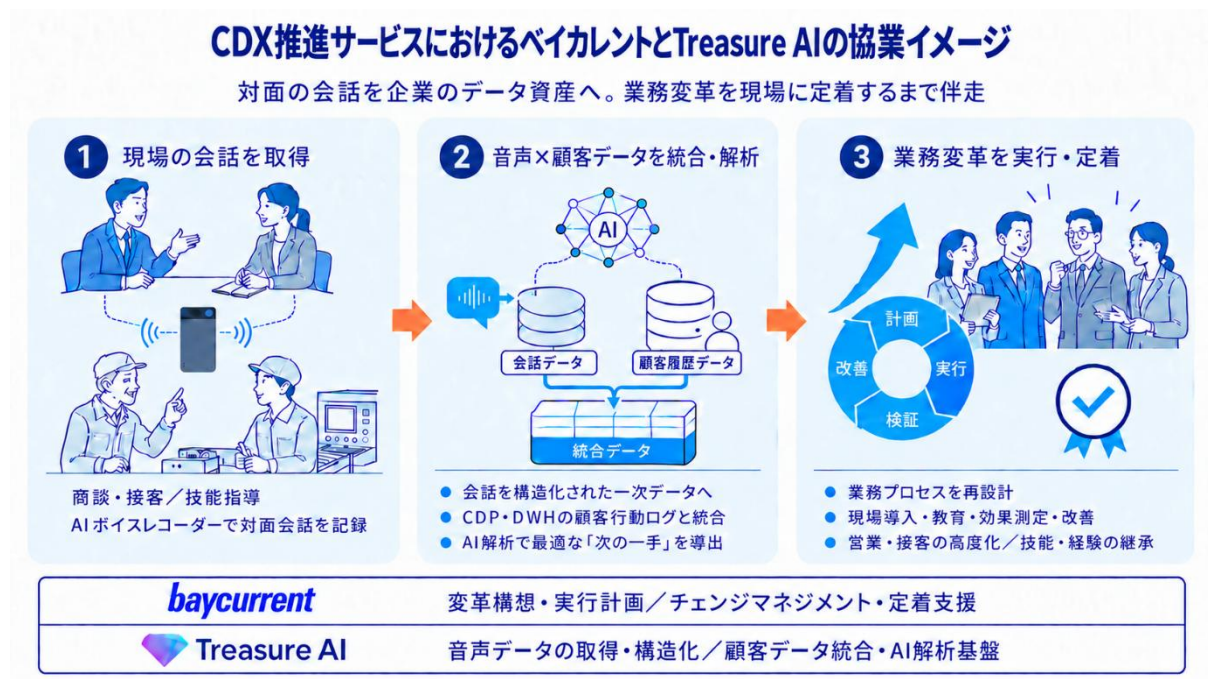
- ・ Treasure AI

「Treasure AI Voice」による音声データの取得・構造化、顧客行動ログとの統合および AI による解析基盤の提供。

- ・ 両社共同

既存の CDP・DWH 等との連携・統合、および CDP 未導入企業への導入構想策定からシステムインテグレーションまでの支援。双方から最適な人材を配置し、QCD の観点で顧客に最適な体制を提供。

「Treasure AI Voice」で取得した音声データと顧客データとの突合は、既存のデータ基盤を活かして実現できます。すでに CDP や DWH を導入されている企業では主要な製品との連携に対応し、未導入の企業には導入構想の策定から支援します。いずれの場合も、お客様の環境に合わせて最適な方式でご提供します。



サステナビリティ・社会的価値への取り組み

ベイカレントと Treasure AI は、本取り組みを通じ、業績向上の仕組みにとどまらない社会的課題の解決を推進します。

① 技能・事業の継承

失われつつある熟練の技能と経験を組織に残し、事業の継続性を支えます。

② 顧客への誠実な説明の担保

重要事項の説明を客観的に確認できる仕組みを整え、顧客が安心して意思決定できる環境づくりに貢献します。

③ 多様な顧客の声を届ける

オンラインで発信しない顧客層の声をデータ化し、経営判断に反映させます。

④ 働く人の保護

現場の会話を客観的な記録として残し、カスタマーハラスメントなどから従業員を守ります。過去の会話記録の学習からリスクにつながる会話の予兆を検知し、ハラスメントの抑止・防止につなげるといった活用も想定されます。

両社コメント

株式会社ベイカレント 執行役員 甲斐 一嘉

「対面での会話という最も豊かでリアルな顧客接点がデータ化されることで、企業の CX（顧客体験）のあり方は根本から変わります。私たちが担うのは、このテクノロジーを『現場で成果を生む武器』へと昇華させることです。構想を描くだけでなく、新たな業務フローの設計から定着まで泥臭く伴走いたします。コンサルティングの実行力とクリエイティブの創造力、そしてデータを掛け合わせ、現場の声を起点としたお客様の事業成長を力強く牽引してまいります。」

トレジャーデータ株式会社 パートナーアライアンス 執行役員/ Head of Partner Alliance & Treasure AI Voice 正木 大輔

「企業活動の最前線にある『対面の会話』こそが、事業成長を左右する価値ある一次情報であると私たちは考えています。『Treasure AI Voice』はこのブラックボックスをデータ資産に変え、次の一手を導きます。しかし、AI 技術を導入しただけでは現場は変わりません。ベイカレント様の圧倒的な変革実行力と伴走支援が掛け合わされることで、データと人が協調する真の変革（CDX）が現場に定着します。両社で日本企業の成長を牽引してまいります。」

株式会社ベイカレントについて

戦略、デジタル、オペレーション、テクノロジーをカバーする日本発の総合コンサルティングファーム。様々な業界のリーディングカンパニーが抱える課題解決を支援するために、経営戦略の策定から実行推進まで総合的なサービスを提供している。

<https://www.baycurrent.co.jp/>

トレジャーデータ株式会社について

トレジャーデータは2011年に米国で設立され、日本を重要拠点としてグローバル企業のDXを支援し続けています。2026年4月、従来のCDPを再定義し、新ブランド「Treasure AI」へ刷新しました。常に最新の顧客コンテキストを理解するデータ基盤、人間と協調（Human-in-the-loop）し確実なROIを創出する自律型AIエージェント、そしてクロスチャネルの施策実行機能を垂直統合した次世代のビジネス基盤「エージェンティック・エクスペリエンス・プラットフォーム（Agentic Experience Platform）」を提供します。高度なガバナンスのもと、マーケティングや営業など全社の顧客接点におけるインテリジェンスを拡張。ビジネス価値の創出を数日から「わずか数秒」へと劇的に加速させ、持続的な施策実行を通じて、強力なリテンションとデータに基づく確かな事業成長を実現します。

<https://www.treasure.ai/ja/>

注記

本サービスにおける音声データの取得にあたっては、個人情報保護法をはじめとする関連法令の順守を前提とし、録音の対象範囲、事前の周知および同意取得の方法、データの保管期間と利用目的、アクセス権限の管理について、導入企業との契約において明確に定義することを前提としています。

本リリースで言及している「常駐型」による伴走支援の提供にあたっては、法令順守の観点から、指揮命令系統や業務従事者の管理などについて、導入企業との契約において厳格に定義することを前提としています。

※本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ベイカレント・コンサルティング インタラクティブ Gr（問合せ窓口）

E-mail : pr-bc-interactive@baycurrent.co.jp

トレジャーデータ株式会社（一般の方からのお問い合わせ） マーケティング部

E-mail : pr-jp@treasure.ai

トレジャーデータ 広報担当（報道関係からのお問い合わせ） 株式会社V A インターナショナル

田中／岩野

TEL: 03-3499-0016

E-mail : vai@va-intl.co.jp